

内容をご熟読ください

A panoramic view of a car show with various vehicles and labels like 'ARM', 'DISARM', and 'ARM'.

METAL SHIELD™

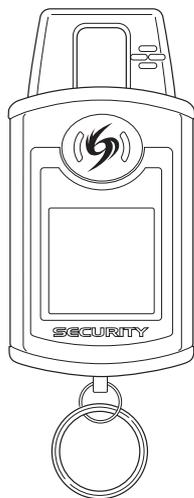
3DCG ANIMATION 2-WAY REMOTE CONTROL ANSWERBACK SECURITY SYSTEM

800V

Owner's Guide

取扱説明書

KATO-DENKI



METAL SHIELD™

この度はMETAL SHIELD 800Vをお買い上げいただきまして誠にありがとうございます。

ご使用前に本書に記した注意事項をよくお読みいただき、安全かつ正しい方法でより長くご愛用くださるようお願いいたします。本書はなくさないよう、大切に保管しておいてください。

- 本書の内容については万全を期しておりますが、万一ご不審な点や記載もれ等お気付きの点がありましたら、当社カスタマーセンターまでご連絡ください。
- 乱丁、落丁はお取り替え致します。
- 本書に掲載されている内容は2010年2月1日現在のものです。
- 本書の著作権は加藤電機株式会社にあります。
- 本書に記載されている内容は、将来予告なしに変更することがあります。
- 本書の掲載画像には若干の相違がある場合がございますのでご了承ください。

HORNET® は加藤電機株式会社の登録商標です。
METAL SHIELD™ ドアトリガー® クリックトーン® ダイアグノスティック™ 等、本書記載の呼称は加藤電機株式会社の商標または登録商標です。
リモコン画面に登場する車両は株式会社ファイブ製作による3Dデータを使用しております。

お取り扱い上の注意 5

- 安全上の注意..... 6
- 使用上の注意..... 6
- 用語解説..... 8
 - ◎ HORNET (ホーネット)とは..... 8
 - ◎ 本書に出てくる主な用語の解説..... 8

梱包物をご確認ください 9

- 800Vの梱包物..... 9

リモコンについて 10

- リモコンについて 10
- リモコンの各部名称..... 10
- リモコンの液晶表示について 11
- リモコンの充電方法..... 12
 - ・リモコン電池の充電確認方法 12
 - ・リモコンの充電方法 12
- リモコン電源のON/OFF方法 14
 - ・リモコンの電源をONにする方法..... 14
 - ・リモコンの電源をOFFにする方法 14
- リモコンの再起動方法..... 14

基本的な操作方法 15

- セキュリティを作動する 15
- セキュリティを解除する 17
- システムを解除せずに警報をとめる(ハイセキュリティ解除™機能) 17
- パニックモード(強制的に警報を鳴らす) 18
- 動作確認音が一回だけ鳴らないようにする(クリックトーン®消音機能) 19
 - ・クリックトーン®消音機能でシステムONする..... 19
 - ・クリックトーン®消音機能でシステムOFFする..... 19
- システムの設定状態(ON/OFF)を確認する 19
- リモコンの誤操作防止機能(ボタンロック) 20

フルアニメーション	20
センサーの特長	21
標準センサー	21
・2段階衝撃センサー	21
・傾斜センサー	21
・ドアトリガー	21
・イグニッションONセンサー	21
オプションセンサー	22
・ボンネットトリガー	22
・トランクトリガー	22
・電源断線センサー	22
リモコンでのセンサー設定と機能設定	23
基本的な設定方法	23
設定項目	24
◎ リモコン操作	
・カーファインダー(駐車している車を探す)	24
・パニックモード(強制的に警報を鳴らす)	24
・パレーモード(セキュリティが一時的に働かないようにする)	25
・ミュート(動作確認音がいつも鳴らないようにする)	25
・履歴確認(センサー発報履歴を確認する)	26
・リモコン音量(リモコン操作音の音量設定)	26
◎ システム設定	
・警告サイレン通知(リモコンへの異常通知)	27
・サイレン時間(サイレン発報時間)	27
・2段階衝撃センサー感度調整	28
・傾斜センサー感度調整	28
・イグニッションONセンサー	28
・パッシブアーム(リモコンを操作せず自動的にセキュリティを作動させる)	29
・リアーム(リモコンを操作せず自動的にセキュリティを作動させる)	30
・設定リセット	30
・サウンド/本体設定更新	31

◎ 便利ツール	
・時間設定(時計の設定)	31
・アラーム設定	32
・ストップウォッチ	32
・タイマー	33
・スクリーン設定(リモコン画面のカラー設定)	34
・データビューア(オプション)	34
・アルコールテスト	35

異常確認に関する機能.....37

ダイアグノスティック™機能(履歴確認)	37
---------------------	----

便利な機能 設定と操作方法.....39

何度もサイレンが鳴らないようにする(迷惑防止機能)	39
電源断線時の設定状態を記憶する(レジューム機能)	39
エンジンスターターと併用する	39
動作確認音と警告音の音量を大きくする	40

操作方法・確認音一覧.....41

トラブルシュート.....42

故障かな?と思ったら	42
------------	----

アフターサービスについて.....43

アフターサービスについて	43
リモコン電池交換について	43
保証書について	43
修理を依頼されるときは	44

お問い合わせ先・製品仕様.....45

お取り扱い上の注意

本製品をご使用になるお客様への損害を未然に防止するために、守っていただきたい事項を記載してあります。注意事項は、次のような記号に分類して表示してあります。

危険 取り扱いを誤った場合、使用者等が死亡または重傷を負う危険の生ずることが想定される事項。

警告 取り扱いを誤った場合、使用者等が死亡または重傷を負う可能性が想定される事項。あるいは、軽傷または物的損害が発生する頻度が高い事項。

注意 取り扱いを誤った場合、使用者等が損害を負う危険が想定されるか物的損害のみの発生が想定される事項。

禁止 禁止行為を表す記号。この記号が表示してある行為は絶対におやめください。

ヒント 機構上、機能上の故障やトラブルを防ぐためのヒント等を説明。また、アクセサリを扱う上で、各種装置の機能を正しく作動させるために必要なことや、無理な操作をさけることでアクセサリの寿命を延ばしたり、コンディションを最高に保つためのヒント等を説明。

! 強制・制約・指示等を表す記号。

※上記はいずれも安全に関する重要な事項を記していますので、必ずお守りください。
 ※本製品は平成15年7月7日告示の自動車保安基準第45条の5の基準を満たしています。
 ※正しい取り付けと設置方法によってご利用ください。
 ※全国自動車用品工業会自主基準登録証は必ず車検証に添付してください。

安全上の注意

警告

- エンジンルーム内に製品を取り付けたままエンジン洗浄をしないでください。ショートをし、感電や機器が故障する恐れがあります。
- リモコンはお子様の手の届かないところに保管してください。システムをOFFしてしまったり、誤って飲み込む等事故の恐れがあります。
- メインユニット及びオプション類の取り付けには正しい車両電装の知識が必要となります。必ず車両電装に関する詳しい知識と技術のある取付店にて行ってください。また、車両電装の知識不足による誤った設置や配線方法により車両の破損、故障等が発生しても当社では責任を一切負いかねます。知識のない方が取り付けを行うと車両、システムの故障・損傷のみならず、人体にも危険が及ぶ恐れがあります。
- 本製品は、故意に分解及び改造変更は絶対しないでください。製品本来の機能を損なうのみならず、重大な事故が発生する恐れがあります。また、分解及び改造変更を行った製品の保証は一切しておりません。
- 本製品は大音量のサイレンを使用しています。人やペットが近くにいる時に本製品を作動させないでください。聴覚障害をおこす恐れがあります。



危険

- DC12V車両専用
24V車両には装着できません。

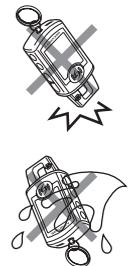


使用上の注意

(1) リモコンの取り扱いに関する注意

注意

- リモコンは落としたり固いものにぶつける等の強い衝撃を与えないでください。
- リモコンは防水性ではないため内部へは絶対に水等が浸入しないように十分注意してください。
- 水がかかるような保管方法や使用方法をしないでください。また、高温になる場所や湿気の多い場所に保管しないでください。
- 必ず専用の充電器をご使用ください。
- 電池は使用場所の温度の影響を受けやすい性質を持っています。例えば冬に寒い場所で使用した場合、暖かい場所に比べると電池残量が減りやすい傾向になりますが、室内に入る等して温度が上がると、減っていたはずの電池残量が復帰することもあります。



警告

- 本製品は電波法に基づく特定小電力無線設備の技術基準適合証明を受けております。分解及び改造変更は絶対に行わないでください。不法改造して使用すると、電波法により罰せられることがあります。
- 技術基準適合証明ラベルは絶対に剥がさないでください。電波法により罰せられることがあります。
- 本製品は日本国内専用であり、外国では使用できません。
This product cannot be used in foreign country as designed for Japan only.



(2) 使用方法に関する注意

注意

- テストの際はガラスやボディ等が破損しないように十分注意してください。当社では万一破損等が発生しても責任は一切負いかねます。
- 本製品は低消費電力設計がされておりますが、長期の連続使用や環境、車両の整備状況によってバッテリーの消耗具合が異なります。1週間以上車両をご使用されない場合等は特にご注意ください。
- 本製品の警告音、サイレン音は、防犯上非常に効果的な大音量で発報するため騒音等にならないよう、周囲の環境を考慮した上で適切な感度にてご使用ください。
- 本製品に過度の衝撃や振動は加えないでください。
- 本製品は防水構造ではないため内部へは絶対に水や油等が浸入しないように十分注意してください。
- 本製品は電波を使用している性質上、周囲に強力な電波が発生している個所では混信を受ける可能性が全くないわけではありません。

**必ずお読みください**

- 国産車限定
日本国内メーカーの車両に対応しています。
並行輸入車、外国車への取り付けサポートは行っておりません。
- 本製品の衝撃センサーは取り付け位置によって感度が大きく変わります。
- 本製品の作動の有無にかかわらず、車両盗難、車上ねらい等が発生しても当社では責任は一切負いかねますのでご了承ください。
- 当社では製品の検査、修理、電池交換時の代品貸し出し等は一切行っておりません。また、検査、修理、電池交換時に発生した工賃等の諸費用はお客様のご負担となりますのであらかじめご了承ください。
- 本製品はアナログ制御になります。コンピューターによるデジタル多重電送通信線への接続はできません。接続をした場合は、本製品のみならず車両の機器を破壊する恐れがあります。
- 車種により本製品の接続が不可能な場合があります。
- 本製品の仕様及びデザインは性能向上等のため、予告なく変更される場合がありますので、あらかじめご了承ください。

用語解説

◎ HORNET (ホーネット) とは

HORNETは、製品を取り付けされた車両に異常が発生した場合に、大音量のサイレンにて不審者を威嚇したり周囲に異常を知らせる、盗難発生警報装置(カーセキュリティシステム)です。各種センサーにより車上荒しを効果的に抑制します。また、別売の各種オプションと組み合わせることで防犯性、利便性をさらに拡張し、オリジナリティ溢れるシステム構築が可能です。

◎ 本書に出てくる主な用語の解説

警告/警報

HORNETが車両の異常を検出した場合に、サイレンを鳴らすなどして威嚇することを示します。

警告:

サイレンからの音 : ビッビッビッ……
スモールライトの点滅 : 3回

警報:

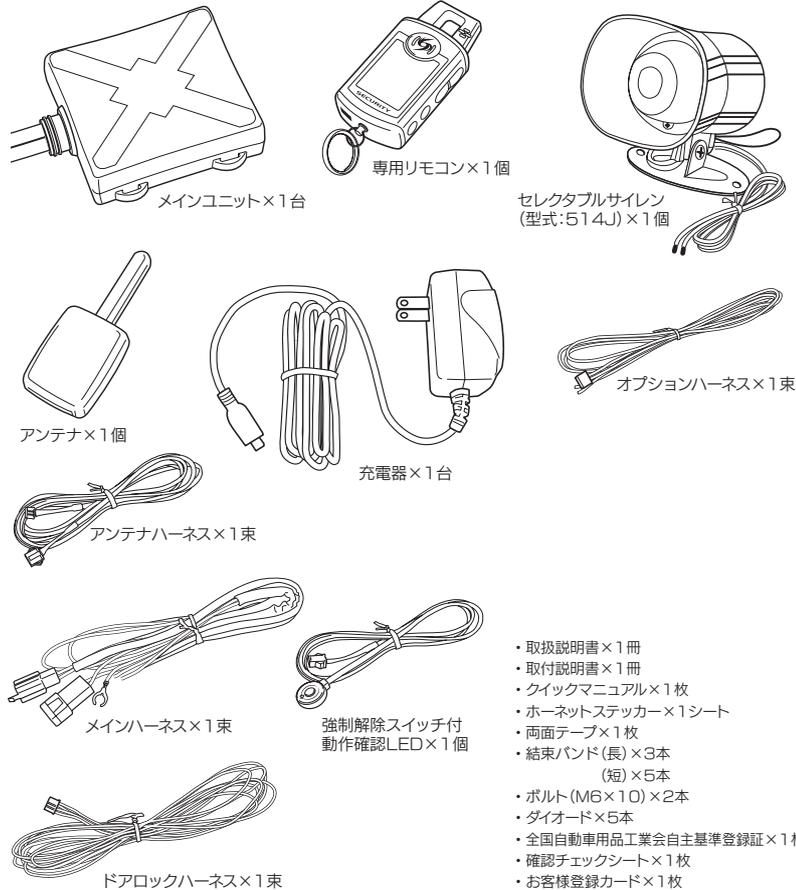
サイレンからの音 : ビービービー……!!
スモールライトの点滅 : サイレン鳴動中

確認音

HORNETの各操作を行うたびに車両に取り付けたサイレンから鳴る音を示します。また、システムのON(作動)/OFF(解除)時に鳴る確認音をとくにクリックトーン(動作確認音)と呼びます。音の鳴り方は操作の内容によって異なりますので、各案内書きをご覧ください。

梱包物をご確認ください

800V の梱包物



梱包物をご確認ください

⚠ 注意

※ステッカーはフロントガラスには貼らないでください。
側面ガラスに貼る場合は、ステッカー全体がガラスの開口部の下縁から100mm以下、かつガラス開口部の後縁から125mm以内におさまるように貼ってください。また、ステッカーの再発行は致しません。
※本製品の仕様及びデザインは性能向上等のため、予告なく変更される場合がありますので、あらかじめご了承ください。

リモコンについて

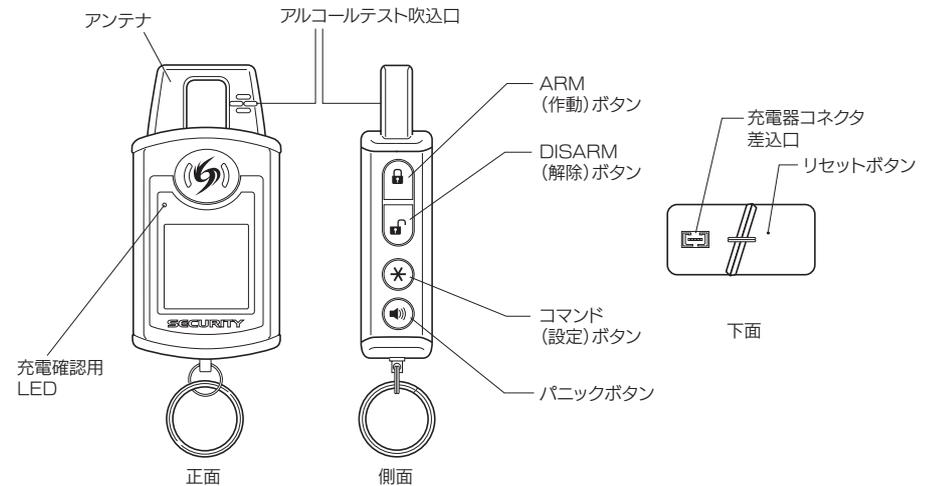
リモコンについて

本製品付属のリモコンは、メインユニットの各操作が行えるほか、車両に異常が発生しセキュリティが反応した場合は、リモコンに異常内容が通知されます。セキュリティ本体とリモコンの操作可能範囲(距離)は約200mです。

⚠ 注意

※本製品は電波を使用している仕様上、環境により通信可能範囲が著しく短くなる場合があります。
※リモコンのご購入、登録、電池交換などに関しましては、必ず取り付けを行った販売店へお問い合わせください。尚、リモコン電池は消耗品のため、交換費用は保証期間にかかわらず有償となります。リモコン電池は約2年を目安に交換してください。
※リモコンの登録可能最大数は4台です。

リモコンの各部名称

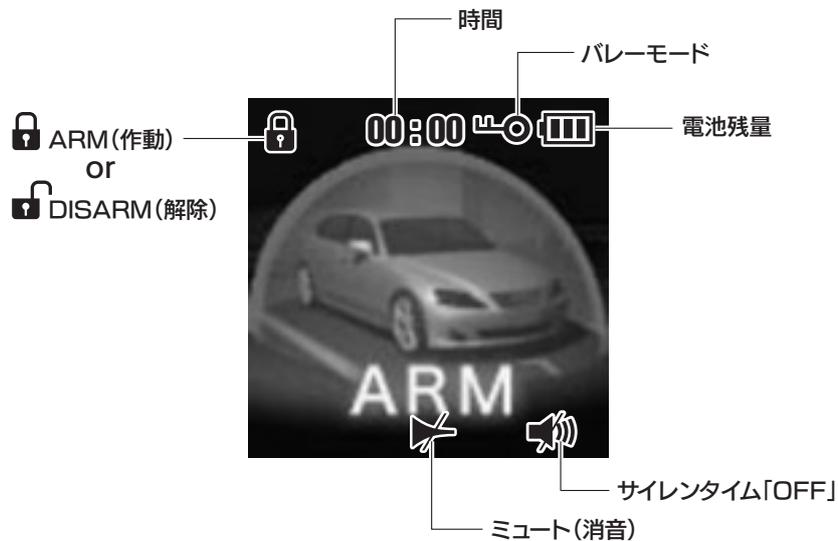


📖 ヒント

リモコン画面には保護フィルムが貼ってあります。

CONTENTS

リモコンの液晶表示について



リモコンの充電方法

・リモコン電池の充電確認方法

- ① ● ボタンを1回(1秒ほど)押します。
——3秒以内に次の操作を行ってください。
- ② ✳ ボタンを1回(1秒ほど)押すと、約2秒後にリモコンに 🔒 (ARM) または 🔓 (DISARM) と表示されたあと、リモコン画面右上に電池残量が表示されます。



リモコンの電源が入らないほど放電している場合にも充電が必要です。

📖 ヒント

電池残量の表示が になると、リモコンから「ピピッ」と定期的に音が鳴ります。充電してください。

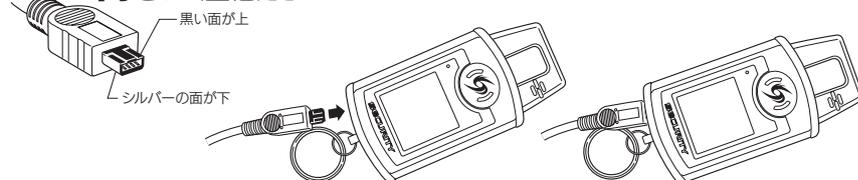
・リモコンの充電方法

📖 ヒント

はじめてお使いになる時や、長期間ご使用にならなかった時は、必ず充電してからお使いください。1週間に1回程度充電してください。送受信の回数が多い場合は充電回数を増やしてください。長期間使用されなかった場合は、充電時間が長くなる場合があります。

- ① 充電器のコネクタをリモコンの充電器用差込口に差し込みます。

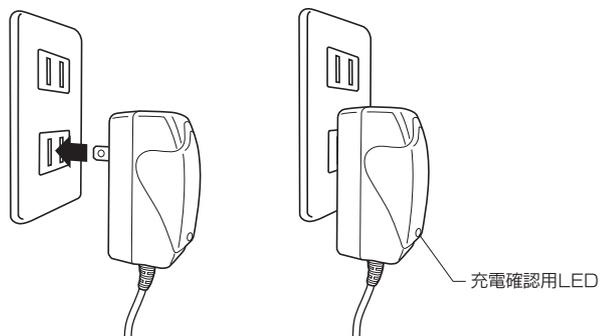
向きに注意!!



⚠ 注意

充電器のコネクタの向きに注意して差し込んでください。強引に差し込みますとリモコン及び充電器が破損し、充電できなくなる恐れがあります。

- ②充電器を家庭用コンセント(AC100V)に差し込みます。
 充電中は、リモコンの充電確認用LEDが赤色に点灯します。
 充電時間の目安は約2時間です。



- ③充電終了後や、充電を行っていないときには充電器をコンセントから抜いてください。



ヒント

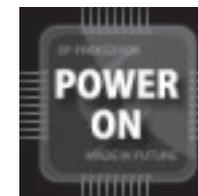
充電中、リモコンや充電器があたかくなる場合がありますが、異常ではありません。
 充電中の操作は、電池の劣化の原因となる可能性がありますのでなるべく避けてください。

リモコン電源のON / OFF 方法

・リモコンの電源をONにする方法

リモコンの電源がOFFの状態で行います。

- ① ボタンと ボタンを同時に5秒以上押します。
- ②リモコン画面に起動画面が表示されたあと、待受画面が表示されます。

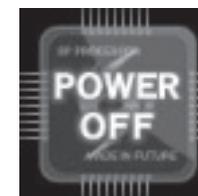


起動画面

・リモコンの電源をOFFにする方法

リモコンの電源がONの状態で行います。

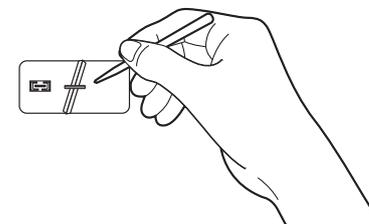
- ① ボタンと ボタンを同時に5秒以上押します。
- ②リモコン画面に終了画面が表示されたあと、消灯します。



終了画面

リモコンの再起動方法

リモコンの画面が静止したまま、ボタンを押しても操作ができなくなった場合、リモコン下面右側にあるリセットボタンを細い棒などで1回(約1秒)押してください。リモコンの電源がOFFになります。再度、リモコンの電源をONにし、使用してください。



⚠ 注意

リセットボタンを強く押すと破損する恐れがあります。

基本的な操作方法

セキュリティを作動する

- ①エンジン停止後、車から降り、すべてのドアを閉めます。
- ②リモコンの  ボタンを1回押します。
- ③システムが作動すると“ピッ”と1回動作確認音が鳴って、ONになったことを知らせます。
- ④約2秒後、リモコンにARMと表示されたあと、画面左上に  が表示され約2秒後にリモコン画面は消灯します。



ライトフラッシュ1回、チャープ音1回、ドアロック



動作確認LED点滅



半ドア検知機能

ドア・トランク・ボンネットのいずれかが開いている、または半ドアの状態である場合、システム作動から約3秒後に確認音が1回鳴り、下記のいずれかをリモコン画面に表示します。半ドアの場合は、一度システムを解除し、ドアを閉めなおしてから再度システムを作動させてください。

※トランク・ボンネットはオプションです。



通信エラー

通信圏外または送受信のエラーなどにより、リモコンとアンテナ(本体)が通信できない状態の場合、リモコン操作時、エラー音とエラー表示でお知らせします。



通信エラーがおこる原因として、下記の事例が考えられます。

- ・通信距離圏外で操作している
- ・同一周波数(400MHz帯)の電波が周囲で出力されている
- ・付近に電波塔や無線機などの強力な電波の発生源がある
- ・本体の電源が入っていない
- ・リモコンの電池残量が不足している
- ・アンテナが金属物の近くにあり電波が遮断されている
- ・リモコン操作を連続で行っている
- ・その他

付近で無線機器や他の特定小電力無線設備から同一周波数の電波が出力されている場合、電波法の規定によりリモコンの操作は行えません。同一周波数の電波が出力されているときに、操作するとエラーと表示しますので、しばらく時間をおいたり、車に近づくなどした上で、再度操作を行ってください。

複数のリモコンを使用する場合は、システムをONにするとき使用したリモコンのみにアンサーバックします。

そのほか電波の送受信などにより、一時的に操作を行えなくなる場合があります。その場合数秒から数十秒時間をおいて操作を行ってください。

セキュリティを解除する

システムがONで警報を鳴らしていない状態で操作してください。

- ①リモコンの  ボタンを1回押します。
- ②システムが解除すると“ビッビッ”と2回動作確認音が鳴って、OFFになったことを知らせます。
- ③約2秒後、リモコンに**DISARM**と表示されたあと、画面左上に  が表示され約2秒後にリモコン画面は消灯します。



ライトフラッシュ2回、チャープ音2回、ドアアンロック



動作確認LED消灯



システムを解除せずに警報をとめる (ハイセキュリティ解除™機能)

警報中にシステムを解除せずに警報のみをとめることができます。

システムが解除されないため、警報をとめたあとシステムを再度動作させる必要がありません。

- ①警報中にリモコンの  ボタンを1回押します。
- ②警報のみがとまり、システムは引き続き警戒を続けます。
※センサーはサイレン停止から約5秒後に復帰します。

パニックモード (強制的に警報を鳴らす)

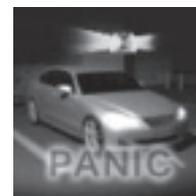
システムのON/OFFに関係なく、リモコン操作で強制的に警報を30秒間鳴らすことができます。

緊急時や周囲に異常発生を知らせたい時等に便利です。

ヒント

リモコンの設定モードからもパニックモードの操作ができます。(P.24参照)

- ①  ボタンを5秒以上長押しします。
- ②サイレンを発報します。



ヒント

パニックモードの停止方法

 ボタンまたは  ボタンを1回押すと、サイレンがとまりパニックモードによるサイレン発報を行う前の状態に戻ります。

※システムONの場合は、サイレン停止から約5秒後にセンサーが復帰します。

動作確認音が一回だけ鳴らないようにする(クリックトーン® 消音機能)

システムのON/OFF時に鳴る動作確認音(クリックトーン)を一時的に消音することができます。

・クリックトーン®消音機能でシステムONする

- ① **ⓧ** ボタンを1回(1秒ほど)押します。
——3秒以内に次の操作を行ってください。
- ② **ⓧ** ボタンを1回(1秒ほど)押すと、動作確認音(クリックトーン®)が鳴らずにシステムをONします。約2秒後、リモコンに**ARM**と表示されたあと、画面左上に  が表示され、約2秒後にリモコン画面は消灯します。

・クリックトーン®消音機能でシステムOFFする

- ① **ⓧ** ボタンを1回(1秒ほど)押します。
——3秒以内に次の操作を行ってください。
- ② **ⓧ** ボタンを1回(1秒ほど)押すと、動作確認音(クリックトーン®)が鳴らずにシステムをOFFします。約2秒後、リモコンに**DISARM**と表示されたあと、画面左上に  が表示され、約2秒後にリモコン画面は消灯します。

⚠ 注意

※機能設定にてミュートに設定した場合はこの機能にかかわらず動作確認音は鳴りません。(P.25参照)

システムの設定状態(ON/OFF)を確認する

リモコンで現在のシステム状態(ON/OFF、バレーモード、ミュート)、リモコン電池残量、時間を確認することができます。

- ① **ⓧ** ボタンを1回(1秒ほど)押します。
——3秒以内に次の操作を行ってください。
- ② **ⓧ** ボタンを1回(1秒ほど)押すと、約2秒後にリモコンに**ARM**または**DISARM**と表示されたあと、 または 、日時、電池残量等が表示され、約2秒後にリモコン画面は消灯します。

リモコンの誤操作防止機能(ボタンロック)

リモコンのボタンをロックすることで誤ってボタンを押すことを防ぐことができます。ポケットなどにリモコンを入れる場合に便利な機能です。

ボタンロックされている状態で、リモコン操作を行うと、ボタンロックの画面と音でお知らせします。



ボタンロックのON/OFF方法

- ① **ⓧ** ボタンと **ⓧ** ボタンを同時に5秒以上押します。
- ② ボタンロックがONまたはOFFされます。
※ボタンロックのON/OFF時、リモコン画面には何も表示されません。

フルアニメーション

本製品のリモコンに登録されている画面をすべて表示します。

- ① **ⓧ** ボタンと **ⓧ** ボタンを同時に5秒以上押します。
- ② アニメーションが表示されます。

センサーの特長

標準センサー

•2段階衝撃センサー

システム作動中に車体に衝撃が加えられた場合、弱い衝撃には警告音、強い衝撃には警報音で威嚇します。(感度設定方法:P.28)



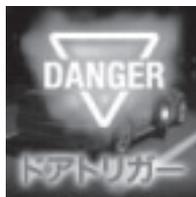
•傾斜センサー

システム作動中に車両の傾きをキャッチすると警報音で威嚇します。検出角度は、約1.0度、約1.4度、約2.0度の3段階からご選択いただけます。
坂道に駐車された場合は、システム作動から5秒後の傾斜角度を基準として傾きを検出します。
(感度設定方法:P.28)



•ドアトリガー

システム作動中にドアが開けられると警報音で威嚇します。車種に応じて配線が必要です。



•イグニッションONセンサー

システム作動中にエンジンをかけようとする警報音で威嚇します。
(設定方法:P.28)



オプションセンサー

•ボンネットトリガー (別売オプションが必要になる場合があります)

システム作動中にボンネットが開けられると警報音で威嚇します。車種に応じて配線が必要です。



•トランクトリガー (別売オプションが必要になる場合があります)

システム作動中にトランクが開けられると警報音で威嚇します。車種に応じて配線が必要です。



•電源断線センサー (別売オプションが必要です)

別売のバックアップバッテリーを接続していただくと、システム作動中に車両とメインユニットの間の電源が切断されても、警報を鳴らして威嚇することができます。
※詳細につきましては、オプション説明書をご参照ください。



リモコンでのセンサー設定と機能設定

基本的な設定方法

各種設定や操作が行えます。

設定内容は「リモコン操作」、「システム設定」、「便利ツール」の3つのメニューに分けられています。

設定方法「例:サイレンタイム 15秒」

- ①リモコンの **[*]** ボタンを3秒以上押します。
- ②「メニュー<リモコン操作>」画面が表示されます。
- ③ **[M]** ボタンを押すごとに次のメニューへすすみ、**[D]** ボタンを1回押し決定します。(例:システム設定)
- ④約2秒後、選択されたメニューの各項目が表示されます。
- ⑤ **[M]** ボタンを押して次の項目へすすみ、**[D]** ボタンを1回押し決定します。(例:サイレン時間)
- ⑥約2秒後、選択された項目の設定内容が表示されます。
- ⑦ **[M]** ボタンを押して設定したい内容へすすみ、**[D]** ボタンを1回押し決定します。
- ⑧リモコンに設定中と表示され、設定が完了すると動作確認音が1回鳴ります。
- ⑨ **[D]** ボタンを1回押しと設定モードが終了し、リモコン画面は消灯します。

※各操作を5秒以内に行わないと、設定が完了せずに設定を終了します。最初からやり直してください。

各ボタンの意味は以下の通りです。

ARMボタン 「決定」	DISARMボタン 「次のメニュー(項目)へ」	コマンドボタン 「1つ前の段階へ」 「日付・時間等の変更」	パニックボタン 「設定モード終了」

設定項目

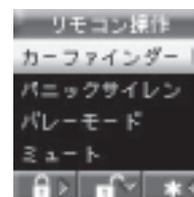
◎ リモコン操作

※下線部が初期設定です。



・カーファインダー(駐車している車を探す)

駐車場などで車の位置を探す場合に便利な機能です。
ライトフラッシュと確認音(ビッビッビッ...)で、10秒間お知らせします。



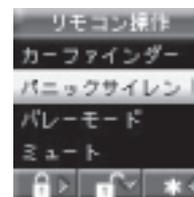
ヒント

カーファインダーの停止方法

[D] ボタンまたは、**[M]** ボタンを1回押しと停止します。

・パニックモード(強制的に警報を鳴らす)

システムのON/OFFに関係なく、リモコン操作で強制的に警報を30秒間鳴らすことができます。
緊急時や周囲に異常発生を知らせたい時等に便利です。(→次ページへ)



ヒント

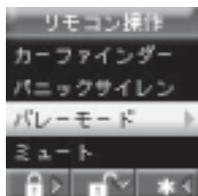
リモコンのボタン操作でもパニックモードの操作ができます。(P.18参照)
サイレンタイムが0秒に設定されていても、パニックモードでは30秒間警報が鳴ります。
パニックモードの発報時間は変更できません。

パニックモードの停止方法

▶ ボタンまたは、Ⓜ ボタンを1回押すと停止します。

・バレーモード(セキュリティが一時的に動かないようにする) (ON/OFF)

車検等で車両を預ける(セキュリティを必要としない)場合に使用する機能です。
センサーは作動せず、ドアロック/ライトフラッシュの機能は使用できます。



ヒント

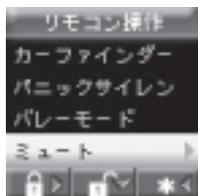
バレーモード設定中

リモコン画面に 〇 が表示されます。
システムON中は動作確認LEDの点滅速度が速くなります。

・ミュート(動作確認音がいつも鳴らないようにする) (ON/OFF)

システムのON/OFF時に鳴る車両側の動作確認音(クリックトーン®)の有無を選択することができます。

ミュートをONにすると、動作確認音(クリックトーン®)が鳴らなくなり、リモコンに 〇 が表示されます。

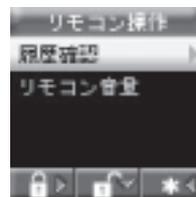


・履歴確認(センサー発報履歴を確認する)

異常を検知したセンサーと通知された日時を確認することができます。異常通知の履歴は3回まで記憶することができます。

4回目の異常が通知されると古い記録から上書きされ消去します。

注意: 履歴の削除や、特定の履歴の保存はできません。



上段: 異常を検知したセンサー
下段: 異常を検知した日付と時間

<履歴の表示>

センサー	リモコン表示
2段階衝撃センサー	Shock
傾斜センサー	Tilt
ドアトリガー	Door
イグニッションONセンサー	IGN
ボンネットトリガー	Hood
トランクトリガー	Trunk
電源断線センサー	Batt off

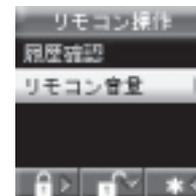
・リモコン音量(リモコン操作音の音量設定) (0/1/2/3/4)

リモコンのボタン操作時やアンサーバック時の音量を変更することができます。

設定	音量
0	なし(音は鳴りません)
1	小
2	中
3	大
4	最大

ヒント

音量の変更はリモコンの音のみです。この操作では車両側の動作確認音の音量は変更できません。



◎ システム設定

※下線部が初期設定です。



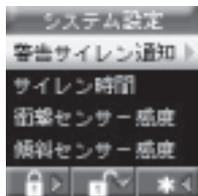
• 警告サイレン通知(リモコンへの異常通知) (ON/OFF)

2段階衝撃センサーが弱い衝撃をキャッチし警告音を発報した時、リモコンに異常を通知(アンサーバック)するか、しないかを設定できます。



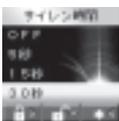
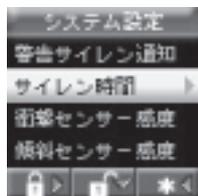
ヒント

警告サイレン通知のON/OFFに関係なく、警告音の発報履歴は残りません。



• サイレン時間(サイレン発報時間) (OFF/5秒/15秒/30秒)

サイレンによる警報発報時間を、OFF(0秒)、5秒、15秒、30秒から選択できます。



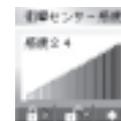
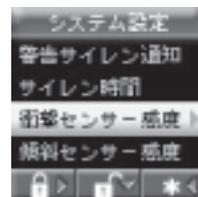
• 2段階衝撃センサー感度調整(1…12…24)

2段階衝撃センサーの感度は「1=最小(反応しません)」から「24=最大」の24段階で設定することができます。



ヒント

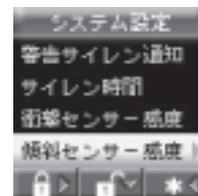
警告音とサイレン音の感度を別々に設定することはできません。



• 傾斜センサー感度調整(OFF/1/2/3)

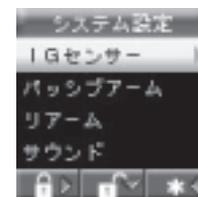
傾斜センサーの感度は以下の4段階で設定することができます。

感度	検出角度
OFF	なし
1	1.0度
2	1.4度
3	2.0度



• イグニッションONセンサー (ON/OFF)

エンジンスターターと併用される場合は、必ずイグニッションONセンサーをOFFに設定してご使用ください。



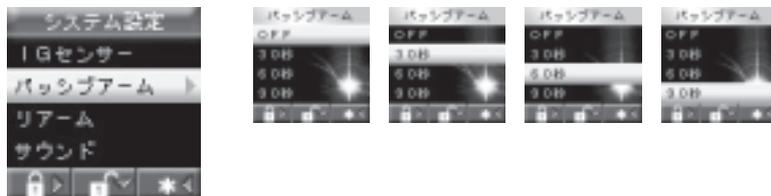
・**パッシブアーム**(リモコンを操作せず自動的にセキュリティを作動させる)
(OFF/30秒/60秒/90秒)

リモコンで操作を行わなくても、自動的にシステムを作動させる機能です。
この機能が作動する時間は30秒、60秒、90秒のいずれかから選択できます。
またこの機能を使用しない場合はOFFに設定してください。

【パッシブアームの作動について】

パッシブアームをONに設定した場合、以下のように作動します。

- ①システムを解除中、ドアを閉めます。
 - ②ドアを閉めた時に、“ビッ”と1回動作確認音が鳴り、1回ライトフラッシュします。
 - ③システムONの約10秒前から定期的に動作確認音が鳴り、ライトフラッシュします。
 - ④ドアを閉めてから設定時間経過後にシステムは作動します。
- ※ドアを開閉するたびに手順②からの動作を行います。
※エンジン停止後、設定時間内にドアが開けられない場合、この機能は作動しません。



📖 **ヒント**

パッシブアームを使用する場合は、必ずドアトリガー線とイグニッション線を配線してください。

リモコンでのセンサー設定と機能設定

・**リアーム**(リモコンを操作せず自動的にセキュリティを作動させる)
(OFF/30秒/60秒/90秒)

誤ってリモコンを操作してしまい、気が付かない間にシステムが解除されてしまったということを防ぐ機能です。

リモコンにてシステムをOFFしたあと、設定時間内にドアを開ける、またはイグニッションをONにする(エンジンをかける)のどちらかが行われなかった場合、自動的にシステムをONにします。

この機能が作動する時間は30秒、60秒、90秒のいずれかから選択できます。
この機能を使用しない場合はOFFに設定してください。

📖 **ヒント**

リアームを使用する場合は、必ずドアトリガー線とイグニッション線を配線してください。
強制解除でシステムをOFFにした場合は、リアーム機能は動きません。



・**設定リセット**

時間以外のシステム設定項目の設定を初期化することができます。

初期化される項目は以下の通りです。

初期化される項目(下線部が初期設定です。)	傾斜センサー感度(OFF/1/2/3)
警告サイレン通知(O <u>ON</u> /OFF)	イグニッションONセンサー(O <u>ON</u> /OFF)
サイレン時間(OFF/5秒/15秒/ <u>30</u> 秒)	パッシブアーム(OFF/30秒/60秒/90秒)
2段階衝撃センサー感度(1…1 <u>2</u> …24)	リアーム(OFF/ 30秒/60秒/90秒)



📖 **ヒント**

キャンセルを選択すると、リセットは行わず前の画面に戻ります。

リモコンでのセンサー設定と機能設定

・サウンド／本体設定更新

サウンド／本体更新設定を使用するには、専用ソフト（発売予定）が必要です。
使用せずに本体設定更新を行った場合、本体の各種設定が下記のように変更されます。



システム設定を選択



本体設定更新を選択



本体設定更新を選択

変更後の機能設定項目			
警告サイレン通知	ON	IGセンサー	ON
サイレン時間	30秒	パッシブアーム	OFF
衝撃センサー感度	13	リアーム	30秒
傾斜センサー感度	3		

◎ 便利ツール



・時間設定 (時計の設定)

西暦で日時を設定します。発報履歴やタイマーはこの時間を基準とします。



ヒント

リモコン登録の抹消や本体に長時間電源が供給されなくなった場合、設定した日付、時刻がリセットされます。再度、設定しなおしてください。

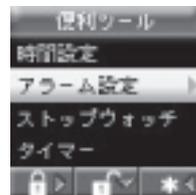
西暦や日付が設定したい数字よりも大きくなってしまった場合は、一回りするまで **＊** ボタンで先に送ってください。

・アラーム設定

指定した時刻にアラームを鳴らしお知らせします。
アラーム音は30秒間断続的に鳴ります。
アラームは1件登録することができます。
アラームは「1回限り」と「平日（月～金）」のどちらかを選択することができます。



【設定方法】



※時間を設定します



※1回のみ／月～金のどちらかを選択します



ヒント

音量について

アラーム音量はリモコン音量と同じです。リモコン音量をOFFに設定された場合、リモコン画面への表示のみを行います。（設定方法P.26）

アラームの停止方法

リモコンの **▶**、**◀**、**＊**、**⏏** いずれかのボタンを1回押すと停止します。

・ストップウォッチ

最長99分59秒90まで1/10秒の単位で時間を計測できます。

ヒント

途中までの所要時間（ラップタイム）は記録できません。

計測したタイムを保存することはできません。

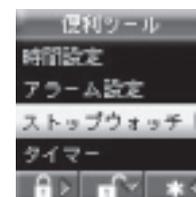
ストップウォッチを終了すると計測したデータはすべて消去されます。

電池残量が不足しているときは計測できません。

また計測中に電池残量が不足するとストップウォッチは停止します。

【操作方法】

- ▶** ボタン : 計測の開始/停止
- ◀** ボタン : 記録のリセット
- ＊** ボタン : メニューへ戻る



・タイマー

設定した時間が経過したことを、アラームでお知らせします。
 最長59分59秒まで1秒単位で設定できます。

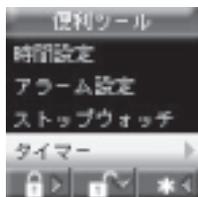
 ヒント

タイマー機能を使用する場合は、時間を設定したあとで、タイマーを作動する操作が必要です。

タイマーの停止方法

リモコンの 、、、 いずれかのボタンを1回押すと停止します。

【設定方法】 セットタイム画面で時間を設定します。



 ボタンで設定を保存します

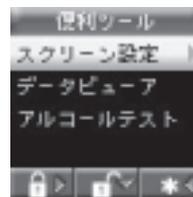
【操作方法】 タイマー画面でタイマーを作動します。



・スクリーン設定 (リモコン画面のカラー設定)

リモコン画面のカラーを青、緑、赤の3色から選択することができます (初期設定はスクリーン1:青となっています)。

項目	カラー
スクリーン1	青
スクリーン2	緑
スクリーン3	赤



・データビューア (オプション)

別売ソフトにてご使用いただけます。

・アルコールテスト



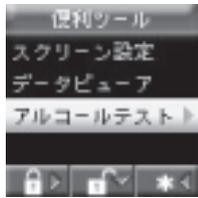
禁止

飲んだ量にかかわらず、お酒を飲んでの車の運転は法律で禁止されています。生命にかかわる事故を引き起こす恐れがありますので、絶対におやめください。

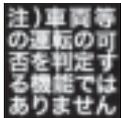
リモコンに息をふきかけることで、呼気中のアルコール濃度を調べることができます。アルコールレベルは3段階で表示されます。

【テスト方法】

①アルコールテストを選択します。



②注意画面のあと、起動画面を表示します。



③吹込口の画面が表示されたら、表示が消えるまで吹込口に息を吹き込んでください。



④確認画面のあと、判定結果を表示します。



レベル	リモコン表示	テスト結果
1		低 ※アルコールを検知しなかった場合も含まれます。
2		中
3		高

警告

- ※アルコールテストの結果はあくまで目安です。
- ※この機能は飲酒運転の可否を判断するものではありません。
- ※機能の使用の有無にかかわらず、飲酒運転や法的に認められない行為に関しては製造者及び販売に携わる関係者は一切の責任を負いません。

異常確認に関する機能

ダイアグノスティック™機能 (履歴確認)

リモコン以外でも、動作確認LEDや動作確認音(クリクトーン®)などによって、異常を検出したセンサーを確認することができます(ダイアグノスティック™機能)。

- 動作確認LEDはシステムの状態によって点滅のしかたがかわります。

動作確認LEDの点滅状態	システム状態/発報履歴内容
1回	システムON中(発報履歴なし) システムON中のパニックモードでの強制発報
2回	2段階衝撃センサーが異常を検知した
3回	ドアまたはボンネット、トランクが開けられた
4回	電源が断線された
5回	イグニッションキーがON、またはエンジンが始動された
6回	傾きを検出した
点滅パターンが変化する	複数のセンサーが異常を検出した
1回(早い点滅)	パレーモード中(システムON中)
消灯	システムOFF中 システムOFF中のパニックモードでの強制発報 パレーモード中(システムOFF中)

※システムON中に各センサーが異常を検出した場合、警報発報中のみではなく警報停止後もシステムOFFまでの間、点滅を行います。

※システムON中に複数のセンサーが異常を検出した場合は、最後に発報したセンサーでの点滅を行います。

※すべての発報履歴を点滅パターンで表します。**点滅順序は、警報発報の順序と異なり、回数が少ない順になりますのでご了承ください。**

例：衝撃→傾き→ドアの順で発報があった場合 2回→3回→6回→2回→3回→6回…



ヒント

発報履歴(ダイアグノスティック™機能)のリセット

システムOFF後にイグニッションキーをONにする(エンジンを始動する)か、システムOFF後に再度システムをONにすると、動作確認LEDは消灯します。

- クリクトーン®やライトフラッシュの回数により、センサーによる発報の有無などが確認できません。また、半ドア状態やセンサーが反応した状態でシステムをONにした場合は、確認音でレポートを行います。(センサーレポート機能)

操作	レポート内容	動作確認音	ライトフラッシュ	リモコン音
ON	システムON	ピッ	1回	ピッ
ON	半ドアの状態ですシステムON	ピッ	1回	ピョー(*)
OFF	システムOFF	ピッピッ	2回	ピッピッ
OFF	システムOFF (発報履歴がある場合)	ピッピッピッピッ	3回	ピッピッ
OFF	システムOFF (発報履歴がある場合で迷惑防止機能が作動した場合)	ピッピッピッピッピッ	3回	ピッピッ

(*)リモコンに半ドア検知の画面が表示されます(P.15参照)。

便利な機能 設定と操作方法

何度もサイレンが鳴らないようにする (迷惑防止機能)

近所迷惑などにならないよう、センサーが連続して反応し、警報を鳴らすことを防止できます。

- センサーの種類にかかわらず、8回警報が発報した場合、システムをOFF→ONするまで9回目以降は警報音での威嚇、リモコンへの異常通知を行いません。警告は回数に関係なく発報を行います。



ヒント

ドアトリガー、イグニッションONセンサー、ボンネットトリガー (オプション)、トランクトリガー (オプション)、電源断線センサー (オプション) は、異常が連続した場合、3回までサイレンを鳴らします。



ヒント

リセットするには?

システムOFF後、次にシステムをONにするとリセットされます。

電源断線時の設定状態を記憶する (レジューム機能)

機能設定された内容をバックアップする機能です。万一電源が切断されてもシステムのON/OFFやパレーモード等の設定内容を記憶し、再度電源が投入されると電源切断前の状態に復帰します。

エンジンスターターと併用する

エンジンスターターによりエンジンが作動している最中にも、ドアのこじ開けに対する警戒を続けることができます。

エンジン作動中、2段階衝撃センサー、傾斜センサー、ボンネットトリガー (オプション)、トランクトリガー (オプション)、イグニッションONセンサー、電源断線センサー (オプション) はスリープモードとなり反応しませんが、エンジン停止から約5秒後に自動復帰します。

動作確認音と警告音の音量を大きくする

動作確認音や警告音は、出荷時、警報音よりも若干小さい音に設定されています。動作確認音や警告音を警報音と同じ音量にする場合は、セレクトابلサイレンについている黒色のループ線を切断してください。



注意

切断後は必ず絶縁処理を行ってください。

操作方法・確認音一覧

機能	リモコン操作	確認音	リモコン応答音	ライトフラッシュ
システムON		「ピッ」	「ピッ」	1回
システムON (1回のみ消音)	→	-	「ピッ」	1回
システムOFF		「ピッピッ」	「ピッピッ」	2回
システムOFF (1回のみ消音)	→	-	「ピッピッ」	2回
システムOFF (センサー発報後)		「ピッピッピッピッ」	「ピッピッ」	3回
システムOFF (迷惑防止機能作動後)		「ピッピッピッピッ ピッ」	「ピッピッ」	3回
パニックモード	(5秒以上)	-	パニック音	点滅
システム設定状態確認	→	-	-	-
ボタンロック	+ (5秒以上)	-	「ピッ」	-
リモコン電源ON/OFF	+ (5秒以上)	-	起動音 終了音	-

※リモコン操作時、リモコンから「ピッ」と音が鳴ります。リモコン音量が「0」に設定されている場合、音は鳴りません。

トラブルシュート

故障かな?と思ったら

症状と原因	対 策
☆勝手に警報が鳴る <ul style="list-style-type: none"> ・メインユニットの固定が不十分 ・電源線の接触不良 ・2段階衝撃センサーの感度が高すぎる 	確実に固定してください。 電源線を確実に接続してください。 感度を絞ってください。
☆叩いても警報が鳴らない <ul style="list-style-type: none"> ・システムをONにしてから5秒以上待っていない ・車体を揺らしている ・感度が低すぎる ・メインユニットの固定位置が最適でない ・迷惑防止機能がはたらいっている 	システムをONにしてから5秒以上待ってください。 揺れには反応しません。 感度を上げてください。 衝撃の伝わりやすい位置に固定してください。 システムをOFFしてからシステムをONにして解除してください。
☆車を傾けても警報が鳴らない <ul style="list-style-type: none"> ・システムをONにしてから5秒以内に傾けはじめた ・センサーが傾斜を検出してから5秒以内に元の状態に戻した ・車体を揺らしている ・感度が低すぎる ・メインユニットの固定が不十分 ・メインユニットの固定位置が最適でない ・迷惑防止機能がはたらいっている 	システムをONにしてから5秒以上待って傾けはじめてください。 傾いた状態を5秒以上キープしてください。 揺れには反応しません。 感度を上げてください。 確実に固定してください。 傾きを検出しやすい位置に固定してください。 システムをOFFしてからシステムをONにして解除してください。
☆ドアを開けても警報が鳴らない <ul style="list-style-type: none"> ・システムをONにしてから5秒以上待っていない ・ドアトリガー線の接続不良 	システムをONにしてから5秒以上待ってください。 ドアトリガー線を確実に接続してください。
☆イグニッションをONにしても警報が鳴らない <ul style="list-style-type: none"> ・システムをONにしてから5秒以上待っていない ・イグニッションONセンサーをOFFにしている 	システムをONにしてから5秒以上待ってください。 イグニッションONセンサーをONにしてください。(P.28参照)
☆オプションセンサー (ボンネット・トランク・電源断線) が動かない <ul style="list-style-type: none"> ・システムをONにしてから5秒以上待っていない ・配線先が間違っている 	システムをONにしてから5秒以上待ってください。 確実に配線してください。
☆セキュリティが作動しない <ul style="list-style-type: none"> ・動作確認LEDが早く点滅しており、リモコンにが表示されている ・黄色線を常時電源に接続している ・電源が入っていない 	パレーモードを解除してご使用ください。(P.25参照) 黄色線は必ずIG ONで+12Vが供給される線に接続してください。 電源線を確実に接続してください。
☆リモコンが作動しない、電池の減りが早くなった <ul style="list-style-type: none"> ・リモコンからピッピと定期的に音がする。 ・リモコン/電池残量が少ない(またはない) ・リモコンの電源が入っていない ・リモコンが作動しない ・電池の減りが早くなった 	電池残量が少ないため充電してください。 充電してください。 充電し、電源をいれてください。 リセットボタンを押して再起動してください。 リモコン電池の寿命です。電池交換が必要ですので取付販売店へご相談ください。
☆充電器の赤色LEDが点灯しない <ul style="list-style-type: none"> ・充電器のコードがコンセントにしっかり差し込まれていない 	確実に差し込んでください。 *スイッチ付延長コードの場合はスイッチがONになっていることをご確認ください。

上記のテストを行っても正しく作動しない場合は取付販売店へお尋ねください。

アフターサービスについて

アフターサービスについて

- 万一、故障が生じたときは、当社保証規定に基づき修理致します。
- 本製品の保証期間はご購入の日から1年間です。
- 保証期間経過後は、修理によって本製品の性能が維持できる場合、お客様のご要望により有料にて修理致します。ただし、本製品の補修用性能部品がなくなり次第修理受付は終了いたします。補修用性能部品とはその製品の機能を維持するために必要な部品です。

リモコン電池交換について

- リモコン内蔵の充電電池には寿命があります。充電をくり返すうちに使用可能時間は徐々に短くなります。最初に比べて半分程度になってきたら交換時期です。電池交換は当社にて行います。電池交換をご希望の際は、お手数ですが、リモコンに記入済みの保証書を添えて取付販売店へご依頼ください。
- リモコン電池は消耗品のため交換費用は有償となります。
- 電池交換を依頼されるとき送料、手数料等の諸費用はお客様のご負担となりますのであらかじめご了承ください。
- ご不明な点がありましたらお客様サポートセンター(P.45参照)までお問い合わせください。
- 当社では電池交換時の代品貸し出しなどは一切行っておりません。

保証書について

- 製品には製品保証書を添付しております。ご購入の際には、必ず製品保証書をお受け取りの上、大切に保管してください。尚、店名、ご購入日、お客様名などの必要事項の記載のないものは保証期間中であっても無効となります。
- シリアル番号は安全確保上重要なものです。ご購入の際にはメインユニットにシリアル番号が表示されているか、また、保証書記載のシリアル番号と一致しているかお確かめください。

修理を依頼されるときは

- 説明書に記載の「故障かな?と思ったら」(P.42)を参考にして、故障かどうかを確認してください。故障とお考えの前に取付販売店またはお客様サポートセンター(P.45)にご相談ください。お客様サポートセンターへご相談後に検査依頼をされた場合でも、送料はお客様のご負担となります。
- 修理をご依頼の際は、下記事項を確認して取付販売店へご依頼ください。このとき保証書は必ずご提示ください。

- 1 型式名、型番号、シリアル番号
(例:ホーネット800V 5012204321)
- 2 故障の内容
(どのような症状か・どんな時に症状がでるか・いつでもでるか、時々かなど)
- 3 お買い上げ年月日
- 4 お買い上げ店名
- 5 お名前、住所、連絡先電話番号

- 修理時に取り外した不良品は品質改善のため、あしからず当方にて引き取らせて頂きます。
- 購入店が移転・閉店した場合は、お近くのホーネット取扱店までご相談ください。
- 当社では製品の検査・修理・電池交換時の代品貸し出し等は一切行っておりません。また、修理、電池交換を依頼されるとき送料、取り付け・取り外しにかかる工賃等の諸費用はお客様のご負担となりますのであらかじめご了承ください。

お問い合わせ先・製品仕様

●ホーネットについてのお問い合わせは……

KATO-DENKI

加藤電機株式会社

お客様サポートセンター

TEL 0569-26-0088

FAX 0569-26-0089

営業時間 月～金 10:00～17:00(祝日、年末年始等は除く)



※お問い合わせの際は、ホーネットの型式とシリアル番号を確認させていただきますので
あらかじめご準備ください。

お問い合わせ先・製品仕様

製品仕様

電源電圧	DC12V
平均消費電流(待機時)	約16mA
平均消費電流(警報時)	約1A
サイレン音圧	最大約128dB
メインユニット使用周囲温度	約-40℃～+85℃
メインユニット外形寸法/重量	約74×77×24mm/約125g
リモコン使用周囲温度	約0℃～+40℃
リモコン外形寸法/重量	約36×71×17mm(アンテナ部含む)/約40g
リモコン操作範囲	約200m
リモコン連続待機時間	約240時間
適合技術基準	特定小電力無線
使用周波数帯	400MHz帯・テレコンテレメーター